

「殺生石」物語考

物語の概略③

蘊護一行が入廷すると、紂王は、すでに妖狐が魅入った壽羊の美しさに、忽ち魅了された。王の寵愛は限りなく、壽羊の名を姫己と改め昼夜淫酒にふける。

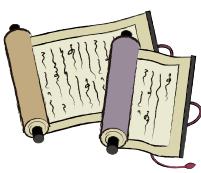
それとともに、政治は荒んで、百官の戒めも聞かない。宴会のために、高さ十余丈（30メートルあまり）の摘星樓を始め、鹿臺という高殿を造り、池には酒を満たし、林には肉を掛け、王は姫己とともに、酒池肉林の宴を楽しんだ。

姫己は、人を殺すことを好み、真つ赤に焼けた銅製の柱に脂をぬり、人を裸にして、それを抱かせた。これを炮烙の刑という。また、五丈（15メートル）あまりの穴を掘らせ、蛇や蝮蛇、蜂、蠍などをその中に貯え、裸にした女をその穴に投げ入れた。女の皮肉は忽ち噛喰われる。これを薑盆の刑という。姫己はまた、妊婦の腹の子の性別を予告し、紂王が十余人の腹を裂かせて確かめると、悉く姫己の言う通りであった。一人は、手を打つて笑い興じた。殷の民は皆、

紂王と姫己の肉を、生きながらにして喰らいたいと思うほど二人を憎んだ。

ここに、岐州の支配者西伯侯姫昌（後の周の文王）という者が、紂王を諫めたが、姫己の謀により7年間、囚われの身となる。その子息伯邑考は、岐州から上京して父の身代わりになることを紂王に願い出る。が、姫己のため切り殺されて、その肉は塩漬けにされる。姫己は紂王に、その肉を、入牢中の姫昌に贈り、もし、これを悟つて彼がないから切つてしまえ。もし、喰わなければ、彼は聖人に違ひ生かしても差し支えないと言ふ。姫昌は、その奸計を見破つて、我が子の塩肉を全て喰らつて見せる。

（出典 高井蘭山「繪本三国 妖婦傳」）



筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

一億の民歩み出す

列島に桜花咲く年度の始め

かつこう

「ひさかたの光のどけき春の日
にしづ心なく花の散るらむ」紀友
則は、「ひさかたの光のどけき春の日
にしづ心なく花の散るらむ」紀友
則は、のどかな光の中どうして桜
の花は散り急ぐのかと詠んだ。春
は別れと出会いの季節。祝福と淋
しがない交ぜになつた気持ちが、
卒業生たちは新たな一步を歩き
だす。そして間もなく迎える入
学式では、きっと夢と希望に満
ちた顔を見せてくれるだろう▼

卒業生たちは新たな一步を歩き
だす。そして間もなく迎える入
学式では、きっと夢と希望に満
ちた顔を見せてくれるだろう▼
30年度当初予算では、小中学校
での英語教育や国際交流を重点
事業として取り組むほか、引き
続きコミュニティスクールの導
入やパソコン教育の推進を実施

▼町内小中学校の卒業式に取材
に行くと、卒業生が見せるさま
ざまな表情が充実した学校生活
を物語っていた。我が子の成長
の喜びが涙となつて保護者の目
を潤ませる。教職員と学校支援
に携わる地域住民に見守られ、
卒業生たちは新たな一步を歩き
だす。そして間もなく迎える入
学式では、きっと夢と希望に満
ちた顔を見せてくれるだろう▼
30年度当初予算では、小中学校
での英語教育や国際交流を重点
事業として取り組むほか、引き
続きコミュニティスクールの導
入やパソコン教育の推進を実施

こんなちは 赤ちゃん



益子
紗凪
(下町)

平成28年
12月14日生

紗凪ちゃんは…

天真爛漫。
いつも元気いっぱい
です。



「こんなちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(3月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,230世帯 (-14)
・人口 25,488人 (-53)
男 12,628人(-31) 女 12,860人(-22)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。
お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。